



5病棟の生活のひとコマ



5病棟では、毎年の個別支援計画の更新面談の時期がやってきました。ご家族さんに来ていただくせっかくの機会なので、面談の後に患者さんの1年の活動を見てもらおうと、プレイルームで作品の展示会を行うことにしました。制作過程を写真付きで

説明した掲示物を添えて、毎月の「やまばとギャラリー」作品や初詣や節分の豆まきをしている神社や鬼も展示し、ご家族さんには患者さんと一緒に作品を見てもらい、一緒に豆まきもしてもらいました。

普段の療育活動を体験してもらったり、作品をどうやって作っているのか、また完成作品を見てもらったりすることで、患者さんの普段の生活を感じていただくよい機会になったと思います。まだまだ面談は続きます。これから



お越しいただく家族さんたちはお楽しみに!今後も患者さんの生活に彩りを添えられるように、療育を計画していきたいという思いをより一層強くした療育指導室メンバーでした。

(保育士 橋本 ひろみ)



2病棟の子どもたちの生活のひとコマ

みなさん、コットンボールって知っていますか?風船を型にして刺繍糸や毛糸を巻き、ポンド水でボール状に固めた、中が空洞になっている飾りのことです。そのコットンボールをアレンジして、今回は縁起物の達磨(だるま)を子どもたちと作りました。



達磨と言えば赤色が定番ですが、子どもたちが作った達磨はカラーバリエーション豊かです。なぜなら、色ごとに込められた意味から、今年叶えたい願い事に合わせて自分たちの達磨を何色にするか決めただけからです。青色の“目標までやり抜く意志の強さ”“集中力を高める”や、橙色の“元気&健康”“友達と仲良くする”の願いにチェックを入れる子が多かったです。

願いを込めながらひと巻き、ひと巻き、自分たちの手で「腕、攣りそうー」「疲れてきた。ちょっと休憩…」等と言いながら丁寧に刺繍糸を巻き上げた網目にはとても味があり、ころんとしたフォルムが可愛らしいカラフルな達磨たちが出来上がりました。売店近くの渡り廊下エリアの出窓のところに展示してありますので、是非ご覧いただき、達磨たちからパワーをもらってください。



そして今年一年、達磨のように「何度倒れても、起き上がる」七転八起の精神で粘り強く物事に挑戦し、一つでも多く自分たちの願いを叶えられますように。



(保育士 伊藤 真衣)

月の みえツウちゃん

みなさまも、
どしどし
応募してくださいね。



ピンクのドレスを着ている
みえツウちゃん、
とってもかわいいですね。

《あんちゃん さん》▶



三重病院
Instagram

こちらから
どうぞ

